リガクグループ 人的資本への 取り組み方針

VER. 1
制定：2026年11月1日
リガク・ホールディングス株式会社

リガクグループ人的資本への取り組み方針

リガクグループは、人的資本をその持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を支える重要な経営基盤と位置付け、リガク・フィロソフィーに掲げる「科学技術の進歩を通して人類社会の発展に貢献する」の実現に向けて、人的資本を充実・強化するための投資と取り組みを積極的に推進します。

1.　多様性の確保についての考え方

リガクグループは、グローバルに事業を展開し、世界各地の顧客の多様な課題に応えるため、性別、年齢、国籍、文化的背景、経験、専門性等の異なる人財が、それぞれの個性と能力を発揮することが重要であると考えます。採用、配置、育成および登用においては、一人ひとりの能力、経験および成果を基本として、公正に機会を提供します。また、多様な人財が互いの違いを尊重し、強みを活かして協働することで、新たな発想とソリューションを生み出し、チームとして成果を創出します。これらを通じて、世界各地の人財が一つのリガクとして統合された能力を発揮する「グローバル・ワン・リガク」を目指します。

2.　人材育成方針

リガクグループは、経営戦略の実行に必要な人財をグローバルに確保するとともに、次代の経営を担う人財や高度な専門性を有する人財を計画的に獲得、育成し、人財パイプラインを構築します。各部門が人事部門と連携し、事業戦略や人財の能力、経験および専門性を踏まえ、人財の配置と育成を主体的に進めます。また、一人ひとりがリガク・コンピテンシーを日々の行動指針としながら、自らスキルを高め、キャリアを形成できるよう、業務経験、研修、フィードバック、コーチング等を通じて成長を支援します。さらに、事業環境や技術の変化を踏まえたリスキリングと、技術・技能の継承を推進します。

3.　社内環境整備方針

リガクグループは、一人ひとりが心身ともに健康で安心して働き、能力を十分に発揮できる職場環境を整備します。多様性と公平性を尊重するとともに、柔軟な働き方や仕事と生活の両立を支援します。また、部門や地域を越えたコミュニケーションと率直な対話を促進し、互いに協力しながら成長とやりがいを実感できる組織を目指します。これらを通じて、従業員エンゲージメントを高め、人財の定着と組織の活性化につなげます。

指標・目標

リガクグループは、本方針の実効性を評価するため、多様性の確保、人財育成および社内環境整備の各領域について、重要な指標を選定し、自主的かつ測定可能な目標を設定します。実績を継続的に開示していくともに、必要な取り組みを見直しながら、望ましい方向への改善を目指します。